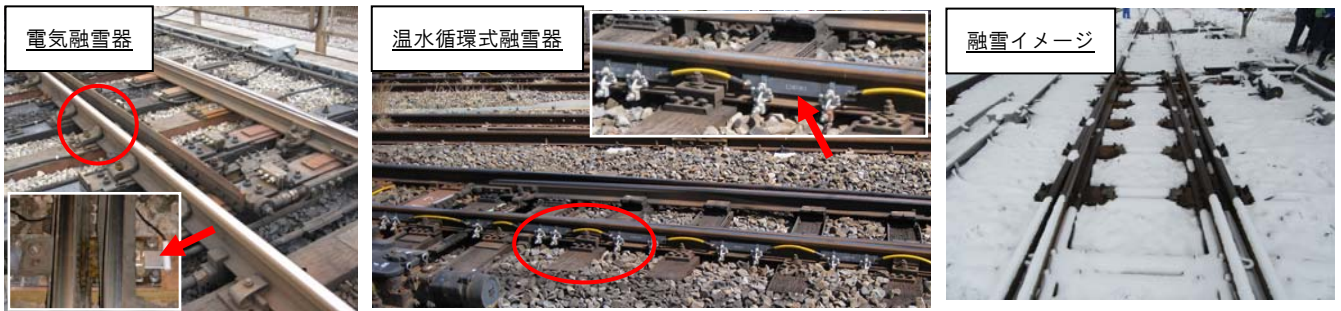


自然災害等の対策について

大宮支社では、自然災害等による輸送障害発生防止のため、雪害対策、倒木対策、降雨対策、雷害対策等に取り組んでいます。

1 雪害対策

雪がポイント部分に挟まり、切替ができなくなることで、列車の運転に支障することがあります。これまでは、灯油を燃やして融雪する装置（カンテラ式）をポイントに取付け、雪害の防止に取り組んでまいりました。現在は、大雪時にも融雪効果の高い電気又は温水循環式を主要駅や列車運行の起点となる各車両センターの出入口に、優先的に整備しております。



■在来線融雪器整備状況

(単位：台)

	2015年度	2016年度	2017年度	敷設完了
電気	48	30	26	549
温水循環式	13	0	26	39

■新幹線融雪器整備状況

本線などの重要なポイントは、すべて整備が完了しております。
(融雪器敷設台数 87 台)

2 倒木対策

線路沿線の樹木は台風や降雪等により倒れ、列車運行に支障する恐れがあります。

大宮支社では、倒木対策として樹木の健全性や線路への近接度合いによる優先順位に基づき、計画的に沿線木の伐採をおこなっています。2017年度は、樹木被害の多い線区を中心に伐採を実施しております。

樹木の伐採状況

(単位：本)

	2015年度	2016年度	2017年度※	合計
宇都宮線	893	635	507	2,035
日光線	811	1,447	1,107	3,365
川越線	1,500	35	500	2,035



合計	3,204	2,117	2,114	7,435
----	-------	-------	-------	-------

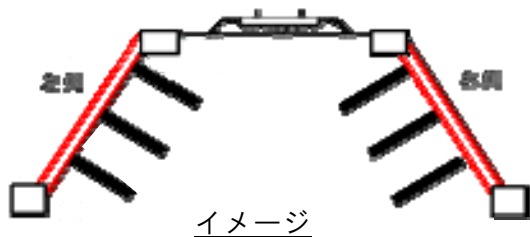
※2017年度は2017年12月末時点の実績を記載

3 降雨対策

(1) 盛土・切取斜面の対策

集中豪雨や長雨により、盛土や切取斜面の土砂が崩れることで、列車運行を支障することがあります。

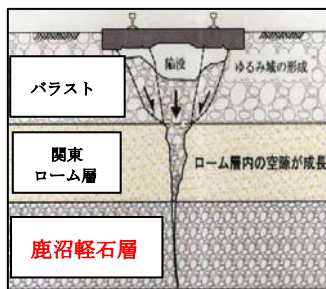
盛土や切取斜面の崩壊を防止するため、のり面に土砂崩壊防止用のコンクリート製の格子枠を設置するなどの対策を実施しております。



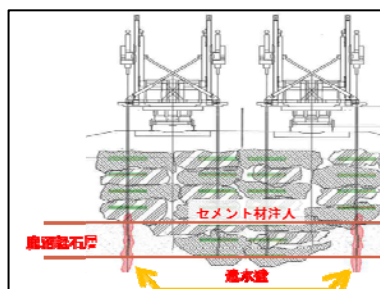
(2) 間々田～小金井駅間の路盤陥没対策

宇都宮線間々田～小金井間の路線は、地盤内に空隙がある鹿沼層に位置し、過去には路盤陥没により輸送影響が発生していましたが、昨年度、鹿沼軽石層の空隙を埋める対策工事（約3km）が完了し、輸送の安定性が向上しました。

※鹿沼軽石層：鹿沼土と呼ばれる空間の多い地層



間々田～小金井地層イメージ



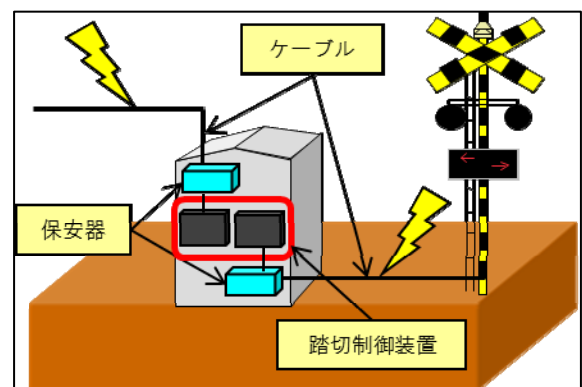
対策工事施工内容



4 雷害対策

落雷により、鉄道運行に関わる電気設備に過大な電流が流れることで機器が故障すると、信号機や踏切が正常に動作しなくなり、復旧に時間を要してしまふことがあります。

そのため、列車運行や道路交通へ大きな影響を与える踏切等の電気設備（踏切制御装置）に過大な電流が流れることを防止するため、保安器等を設置する対策を実施しております。



踏切制御装置の雷害防止対策